

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
物理療法学			必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
大塚 篤也 他		D320	a.otsuka		火曜日 10:00～13:00	
授業の目的・概要		理学療法の治療手技の一つである物理療法に関する専門基礎知識を身につけ、患者に対して物理療法を安全かつ効果的に実施する能力をつける。そのために、物理療法学では、講義にて物理療法の各手技について講義し、そのメカニズムや治療効果、適応・禁忌事項について学ぶ。その後、少人数のグループに分かれて、実務経験のある教員の指導のもと実習を行い、知識・技術の定着を図る。				
授業形式・方法		☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐演習 ☒実習 ☐実技 ☐PBL ☐反転授業 ☐ディスカッション・ディベート ☒グループワーク ☐プレゼンテーション ☒実習・フィードバック ☐その他（				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

回	学習内容等		授業の方法	事前事後学習内容・必要時間（時間）			
16	電気刺激療法：TENS、TES、FES の各種手技を学ぶ	[担当] 新任	講義	教科書(pp.159～235)を読み、電気刺激療法について予習する。	2		
17							
18	物理療法の臨床応用について学ぶ	[担当] 大塚	講義・GW	16～17 回目の講義内容を復習する。	1		
19	光線療法：赤外線、レーザー、紫外線療法の効果や治療方法について学ぶ。	[担当] 新任	講義	教科書(pp.115～144)を読み、光線療法について予習する。	2		
20							
21	水治療法：水治療法のメカニズムと効果、各種手技を学ぶ。	[担当] 関根	講義	教科書(pp.96～112)を読み、水治療法について予習する。	2		
22							
23	振動刺激療法：振動刺激療法のメカニズムや手技を学ぶ。	[担当] 大塚	講義	教科書(pp.262～276)を読み、振動刺激療法について予習する。	2		
24							
25	物理療法実習②-1：寒冷療法、水治療法機器操作やメンテナンス方法を習得し、各種物理療法の実施方法について学ぶ。	[担当] 大塚、三科、関根、新任	実習・GW	13, 14, 21, 22 回目の講義内容を復習し、実習の準備を行う。	2		
26							
27	物理療法実習②-2：電気刺激療法、牽引療法機器操作やメンテナンス方法を習得し、各種物理療法の実施方法について学ぶ。	[担当] 大塚、三科、関根、新任	実習 GW	15, 16～18 回目の講義内容を復習し、実習の準備を行う。	2		
28							
29	ロボットリハビリテーションの適応と効果について学習する。	[担当] 新任	講義	教科書(pp.262～305)を読み、ロボットリハについて予習する。	1		
30	これまでの学習の総括	[担当] 大塚	講義	これまで配布された資料を用いて復習を行う。	1		
試							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	70	5	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する（70%）。試験では教科書および配布資料の内容を基に応用出題を出題し、理解度を問う。	試験返却時に解説を行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	合計 8 回行われる物理療法実習時にレポートを課す。レポート内容、採点基準は各実習時に提示する（物理療法実習①：10%、物理療法実習②：20%）。	レポート返却時にフィードバックを行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

評価のポイント			フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
備 考			
他 担 当 教 員	三科 貴博、関根 聡美、新任教員		
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。		
実践的授業の内容	理学療法士として病院等で勤務経験を有する教員が各疾患に対する物理療法に関する基本的知識と技能を教授する。		
そ の 他	受講する際の注意事項 ・受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 ・物理療法は、物理的エネルギーを利用するため使用方法を誤ると重大な事故を招く可能性があるため、教員の指示に従うこと。注意しても守れない学生は退室してもらう。 ・実習時は、肌を露出しやすく、動きやすい服装で臨むこと。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢や講義の進行状況によって、シラバスの内容を一部変更することがある。		